

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
1	小学生・中学生・高校生を対象に、区の体育施設の無料開放日を設ける。	令和8年度に実施予定	令和8年4月1日より、区内在住在学在勤の高校生相当までを対象に、区立体育施設の一般使用に係る料金を無償化（免除）します。
2	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」により提唱されている「新しい認知症観」の啓発のため、認知症介護研究・研修東京センターの協力を得て、様々な場で講演会を開催するほか、認知症の人の希望と再生の物語、映画「オレンジランプ」の上映会を区内各地域で開催できるよう、上映機会の拡充を図る。	令和8年度に実施予定	区では、令和5年3月に認知症介護研究・研修東京センターと連携協定を締結し、令和6年度以降、区民向け講演会や映画「オレンジランプ」上映会を実施するなど、「新しい認知症観」の普及啓発を進めてきました。 令和8年度は、「オレンジランプ」のサブスクリプションサービスを活用して、ケア24や地域団体等による上映の催しを支援するなど、更なる普及啓発を図っていく考えです。
3	区施設への給水スポットの設置を拡充する。各給水スポットには、ベンチやポスター掲示スペースなどを整備する。また、給水スポットをめぐるスタンプラリーイベント等を実施する。	令和8年度に実施予定	区では、暑さ対策等を目的に、令和7年度時点で区立施設52か所に56台の給水機を設置しています。これに加えて令和8年度新たに9か所の給水スポットを整備します。 （設置場所） 区民事務所（井草、西荻、高井戸、荻窪）、コミュニティふらっと方南、馬橋公園管理事務所、井草森公園管理事務所、桃井原っぱ公園管理事務所、塚山公園管理事務所 これらの給水スポットのある施設には、掲示板や、ベンチが設置されているものもあります。 なお、スタンプラリー等に係るご提案については、既に区の観光スポット等を巡るイベントがある中で、新たに給水スポットを巡るスタンプラリーを実施することの効果について検討する必要があると考えます。 ▶給水スポット（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s103/20774.html
4	障害者、特に精神障害者が参加できるスポーツ教室を拡充する。	令和8年度に実施予定	区では障害のある方を対象に、区内の体育施設でユニバーサルタイムの取組を実施しています。 ユニバーサルタイムでは、軽い運動やウォーキング、ボール種目などのプログラムを定期的に実施しており、参加者は障害の種類・程度、希望に応じて自由に選択できます。このプログラムは精神障害のある方の参加も想定して企画されており、本人の意向を尊重しながら安心して楽しめるよう工夫しています。実際に、現在も精神障害のある方が参加し、無理なく運動に取り組める環境となっています。 令和8年度は、現在3カ所で行っているユニバーサルタイムの実施回数を合計4回増やして開催する予定です。 ▶ユニバーサルタイム（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s032/636.html
5	外国人住民と日本人住民の交流を促進するため、空き家などを改修し、多文化交流スペースを整備する。	令和8年度に実施予定	外国人と日本人の交流を促進する多文化交流を目的としたスペースについては、令和8年9月から、みなみ阿佐ヶ谷ビル4階・5階で実施する「多文化共生拠点事業」の中で整備していきます。
6	スケートボードなどのストリートスポーツができる施設を整備する。	実施に向け検討	旧杉並中継所跡地については災害時の防災拠点として活用することとしており、災害時以外の平時の活用方法については、建物の構造や特性を踏まえて、地域の意見を聴きながら、「アーバンスポーツができる運動施設」としてスケートボードなどのストリートスポーツができる施設「（仮称）井草アーバンスポーツ施設」を整備する方針を決定しました。今後、令和11年度の開設（予定）に向けて、設計や工事を進めてまいります。 ▶旧杉並中継所の跡地活用（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s002/1333.html
7	天沼陸橋の壁画を塗り替えることで景観を美化し、地域住民の積極的な外出を促す。	実施に向け検討	天沼陸橋の壁画の塗り替えについては、天沼陸橋の管理者である東京第三建設事務所や関係者等と調整を図り、地域の声を聴きながら、引き続き実施に向けた検討を行ってまいります。
8	骨粗鬆症検診を実施するほか、骨を強くするための食生活や運動等に関する情報発信を強化することにより、健康寿命の延伸を図る。	実施に向け検討	骨の維持を含む生活習慣の改善のため、食生活や運動に関する情報発信は、健康講座・栄養相談・乳幼児検診などの機会を活用し、情報発信に取り組んでいます。今後は、媒体やホームページも工夫しながら周知活動を実施していきます。また、骨粗鬆症検診については、国の指針に基づく適正な実施に向け、医療機関等の各機関と調整しながら検討を進めていきます。
9	病気（身体疾患だけでなく精神疾患）と共生しながら生き生きと生活している区民を紹介するイベントやポスターを実施する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、「がん治療と仕事の両立支援セミナー」を実施しており、がんサバイバーであるパネリストが、自分らしく働くために苦労した点や、理解が進んでほしい点などについて、自身の体験を語る講演会を行っています。 引き続き、このような取組を通じて、自分だけでなく周りの病気への理解促進と、病気との共生について理解促進に努めてまいります。 なお、精神疾患については、精神保健学級として、区民及び関係機関従事者を対象に講演会を実施しております。

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
10	「がんについてもっと知ろう！」をテーマに、がんの経験に関わらず、多世代を対象にがんリテラシーを向上させるがん教育のイベントを実施する。がんの基礎知識に加えて、がんゲノム医療などの新しい医療、がん検診や HPV ワクチン、食生活・生活習慣などのがん予防の最新情報及び、助成制度、オストメイト情報、ヘアドネーションなど患者支援活動、術後に利用できる衣料や器具・生活用品等を講演や展示などで提供する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、がんの基礎知識やがん予防の最新情報等の普及啓発を目的として以下の取組を実施しています。 ご提案の内容については、今後のイベント等の企画をする際の参考とさせていただきます。 ・生活習慣・がんに対するロビー展示 毎年9月のがん征圧月間に合わせて、区役所本庁ロビーにて、がんの基礎知識やがん予防に関する展示を実施。 ・がん予防講座 食生活改善によるがん予防、働きながらがん治療を続けるための両立支援等をテーマとして講座を実施。 ・ホームページでの周知 区ホームページにがん予防や相談先についての情報を集約した「がんの予防」のページを設置。 ・がん患者支援 NPO と連携した講座の実施 がん患者を支援する NPO と連携して、がん患者等を対象にしたがん緩和ケア講座を毎年実施。 ▶がん予防（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/2148.html
11	乳がんの早期発見を目的とした啓発のため、学校に乳がんの胸の模型を設置するほか、専門家による講習会を実施する。	既存事業の拡充等にて実施	区では以下のとおり、類似の取組を実施しています。 ・がん予防講座 大学教授や乳がんサバイバーの方と、乳がんをはじめとしたがん予防に関する講座を実施。 ・女性の健康イベント 健康イベントやロビー展示で乳がんの早期発見の重要性や自己触診の方法に関する情報を提供。イベントではしこり等のチェックができる乳房モデルを設置し、自己触診体験を実施。 なお、乳がんの好発年齢は日本では 40 代後半から 50 代前半とされており、40 歳以上を対象として乳がん検診を実施していることから、学校等への模型の配置については難しいものですが、乳がん検診の受診促進や、がん対策に関する生活習慣予防の周知を図っていきます。
12	子宮頸がん検診の診察台をリクライニング式のものにします。	既存事業の拡充等にて実施	子宮頸がん検診細胞診においては、既にリクライニングシートを用いて実施している検診実施機関が多くを占めています。
13	子育て世代（20～40 代）の健康診断受診率向上のため、検診参加時に利用可能な保育補助サービスを提供することで、子育てを理由に受診を後回しにする状況を改善し、若い世代の健康意識を高める。	既存事業の拡充等にて実施	健（検）診受診を理由とした一時保育サービスの利用は現行制度でも可能であり、料金の支払いには子育て応援券もご利用いただけます。今後も情報の周知に努めてまいります。
14	以下の機能が搭載されたアプリ等を導入する。 ・デジタルスタンプラリー ・歩数に応じたポイント付与 ・歩数をランキング形式で発表 ・健康に関するイベント等に参加した際のポイント付与 ・生活習慣改善の実践方法講座 ・AI を活用した健康セルフチェック・健康指導 ・健康に関するクイズの回答によるポイント付与	既存事業の拡充等にて実施	当内容の多くが、令和7年10月に導入された杉並区健康アプリ「なみチャレ」に搭載されていますが、より多くの方にご利用いただけるよう周知を図っていきます。なお、未搭載の機能については、今後の健康アプリの機能改善の参考とさせていただきます。 ▶杉並区健康アプリ「なみチャレ」（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/22717.html
15	区内の公園に健康器具を設置し、設置場所をマップでわかりやすく周知する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、これまでに区立公園等 60 か所へ約 120 基の健康遊具を設置しており、健康づくりの機会提供に努めてきました。また、既存の公園マップ「ぱーくまっぷ」において、健康遊具の設置状況を確認できるよう情報提供を行っています。 今後は、より多くの方に利用いただけるよう、区ホームページにおいて、公園ごとに設置されている健康遊具の種類や位置情報をわかりやすく掲載することを検討しています。これにより、利用者が自身の目的に合った公園や遊具を探しやすくなる環境づくりを進めてまいります。 ▶杉並区公園マップ（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s100/10600.html
16	新しい公園の利用ルールを策定する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、ワークショップや区民アンケートの実施により公園利用ルールの見直しに取り組み、令和7年4月より新ルールの運用を開始しました。 ▶新しい公園利用ルール（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s100/1626.html
17	多種多様な方が利用できる男女兼用トイレを公園等に設置する。	既存事業の拡充等にて実施	区では毎年3箇所程度、男女兼用のバリアフリートイレへの建替え工事を行っています。今後は区内の公園や公共施設のトイレの配置状況を見ながら、公園等トイレの配置を見直し、トイレの建替えを進めていきます。

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
18	公園などに踏んで足つぼを刺激できるスペースを設置し、健康増進を図る。	既存事業の拡充等にて実施	善福寺さくら公園（はだしのオアシス）及び梅里児童遊園（はだしの丘）に足つぼを刺激できる施設を設けています。 ▶善福寺さくら公園（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s100/shisetsu/14756.html ▶梅里児童遊園（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s100/shisetsu/14615.html
19	部活動や習い事などとは別に、防球ネットやバスケットゴールのある子どもの居場所を整備することで、心身の健康な発達を促進する。	既存事業の拡充等にて実施	区立の児童厚生施設である児童館及び子ども・子育てプラザにおいて、子どもが身体を動かし安全に遊ぶことができる機会を提供しています。また、放課後等の区立小学校施設を活用して実施している放課後等居場所事業においても、同様の機会を提供しています。なお、一部の施設は、防球ネットやバスケットゴールを備えています。 さらに、区内の34箇所の公園に球戯場があり、サッカーやキャッチボールなどのボール遊びをすることが可能です。
20	LINEを活用し、より多くの区民に区が実施しているイベントや支援事業を周知する。	既存事業の拡充等にて実施	杉並区公式LINEでは、広報すぎなみ（1日・15日発行）をはじめとした区からのお知らせを中心に配信しています。 また、保育園入園相談・粗大ごみチャットボット、道路・公園の不具合などの通報、各種申請等、便利な機能がお使いいただけます。 さらに、セグメント配信機能により、イベント情報など知りたい情報のカテゴリーをあらかじめ登録しておくことで、自分に合った情報を受け取ることができます。 ▶杉並区LINE公式アカウント（LINE） https://page.line.me/192gvsgr
21	食生活の改善による病気の予防等を目的とした取組を実施する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、次の取組等を通じて食生活改善を通じた疾病の予防に関する啓発に取り組んでおり、今後も周知に努めてまいります。 ・食育活動の推進（媒体制作・講座等の実施） ・ホームページ・YouTube「すぎなみ健康チャンネル」を通じた健康的な食生活の情報発信 ・栄養相談や地域食育推進教室 ▶健康的な食生活（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/kenko/shokuseikatsu/index.html ▶すぎなみ健康チャンネル（YouTube） https://www.youtube.com/channel/UCC3aWqmwYn1oq31-iKh7P6A ▶栄養・食生活相談（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s050/19310.html
22	家族参加型の料理教室を開催する。	既存事業の拡充等にて実施	区では以下のとおり、親子参加型の料理教室を実施しており、今後も周知に努めてまいります。 ・食育の推進イベント、地域食育推進教室 テーマに応じて、食育に関する事業を親子参加型のイベントも実施。 ・親子クッキング教室 新渡戸文化短期大学と連携し、食品ロス削減を学ぶことができる親子参加型の料理教室を実施。 また、各地域区民センターにおいても、地域団体等が親子参加型の料理教室を実施しております。
23	一人暮らしや料理初心者でも簡単に作れる健康的な料理を紹介するイベントを開催するほか、インターネットで気軽に閲覧できるようにする。	既存事業の拡充等にて実施	区では以下の取組等を通じて、健康的な料理の紹介を実施しており、今後も周知に努めてまいります。 ・栄養満点サロン 65歳以上の区民を対象に、区民センターやゆうゆう館などで栄養バランスの良いメニューの紹介や試食を行うことで、低栄養の改善や閉じこもり予防、仲間づくりにつながるサロン。 ・野菜のレシピ集の発行 テーマを設けた野菜を使って創意工夫し料理が作れるように、JA東京中央杉並中野地区女性部、杉並区食育推進ボランティアとの協働により、提案したレシピを年2回発行。 ・動画で学ぶ食育 減塩の工夫、野菜のレシピ、親子クッキングのポイント等について学べる動画。 ▶栄養満点サロン（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s048/1172.html ▶野菜のレシピ集（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/2166.html ▶動画で学ぶ食育（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/2170.html

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
24	区立学校で肥満や生活習慣病等の予防を目的とした子ども向けの講座を実施する。	既存事業の拡充等にて実施	学習指導要領に基づき授業等を通して、運動や栄養等の大切さを教えることで、子どもたちの身体的・心理的な健康づくりを推進しています。 また、子どもや成人期（18歳以上～64歳以下）の多くが、健康施策等の情報収集を SNS や動画などから情報を得ているというアンケート結果があることから、YouTube チャンネル「すぎなみ健康チャンネル」など、ICT を活用した啓発活動にも継続して取り組んでまいります。 ▶すぎなみ健康チャンネル（YouTube） https://www.youtube.com/channel/UCC3aWqmwYn1oq31-iKh7P6A
25	大切な人の死や、流産死産の悲しみを分かち合えるグリーフケアを実施する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、大切な方を亡くされた方々へのグリーフケアとして、以下の取組を行っています。 ・流産・死産を経験された方への区ホームページでの情報提供、大切な方を亡くされた方への個別相談の実施、ならびに必要なに応じたグリーフケアに関する NPO 等民間団体との連携 ・杉並区犯罪被害者等支援条例に基づく、犯罪被害者遺族への相談対応 これらの既存の相談事業については、今後さらに効果的な周知に努めてまいります。 ▶流産・死産などでお子さんを亡くされた方へ（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s054/18968.html ▶犯罪被害者支援（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s017/1807.html
26	心の健康相談をしやすい環境を整備し、SNS などを使用して相談窓口の広報を強化する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、精神科医による精神保健相談や保健師による相談、ストレスチェックシステム「こころの体温計」、女性の LINE 相談「まるっとヘルスケア」など、心の健康相談に取り組んでいます。各相談窓口の周知については、広報等に加え、区ホームページや公式 LINE・X（旧 Twitter）、区役所デジタルサイネージ等、SNS なども活用しており、さらに効果的な周知方法について、引き続き検討してまいります。 ▶精神保健相談（ものわすれ相談、心の健康相談）（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s048/954.html ▶こころの体温計（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s047/930.html ▶女性の LINE 相談「まるっとヘルスケア」（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/2155.html
27	区民が農業体験・自然体験ができる機会を創出する。また、ICT を活用した効率的な農作業を支援する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、区民の方に農業体験や自然体験などをしていただく取組として以下を実施しています。 ・農業体験農園、成田西ふれあい農業公園 各種農業体験事業を実施。 ・農福連携農園、上井草二丁目団体利用農園 区民・保育園・小学校を対象とした収穫体験等のプログラムを実施。 ・交流自治体での体験ツアー 交流自治体である新潟県小千谷市にて田植え等を体験するツアーを実施。 ・小千谷市の新米を羽釜で炊いて食べよう！ 郷土博物館にある羽釜で小千谷市の新米を炊きながら、小千谷市の中山間地域の暮らしと食文化について学べる講座を実施。 ICT を活用した農作業支援については、需要や費用対効果を見極めながら実施について引き続き検討してまいります。 ▶農業体験農園（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s121/1768.html ▶成田西ふれあい農業公園（区ホームページ） https://naritanishi-agripark.com/ ▶農福連携農園すぎのこ農園（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s121/1774.html
28	区内の農園等で採れた規格外の野菜を子ども食堂に提供する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、農福連携事業の一環として農福連携農園すぎのこ農園で収穫した野菜を子ども食堂へ提供しています。

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
29	地域食材への関心の向上や食育推進等を目的に、区内の農家・商店・飲食店などと連携し、杉並の食材を使ったレシピ開発、料理コンテストを実施する。	既存事業の拡充等にて実施	区では以下のとおり、類似の取組を実施しています。引き続きこれらの取組を通じて地域食材活用のPRや食育を実施してまいります。 ・すぎなみ朝ベジごはんメニューコンテスト 中学2年生を対象に、野菜料理があるバランスの良い朝食のメニューコンテストを通じて、健康的な食生活を実践できるよう支援する事業。表彰や優秀な作品をまとめた冊子を発行。 ・野菜のレシピ集 食育推進ボランティアやJA女性部と協働で、杉並野菜を使った野菜のレシピ集を年2回発行。 ▶すぎなみ朝ベジごはんメニューコンテスト（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/2167.html ▶野菜のレシピ集（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/2166.html
30	誰でも気軽に集い、情報共有できる場を整備する。	既存事業の拡充等にて実施	誰でも予約なし・無料で気軽に利用することができる交流、学び、憩いの場として、集会施設の共用部に談話コーナーやラウンジをご用意しています。
31	多世代が交流できる場として、図書館・カフェ・保育園が一体となった複合施設を整備する。	既存事業の拡充等にて実施	ご提案の、図書館・カフェ・保育施設が完全に一体となった複合施設はありませんが、類似の施設として、令和7年4月に高円寺地域に開設したふらっとすぎはちがあります。ふらっとすぎはちは、高円寺図書館、コミュニティふらっと高円寺南、すぎはち公園、高円寺東保育園の複合施設であり、うち図書館とコミュニティふらっとは、施設として一体化しており、子どもからシニアまで、多世代が安心して集うことのできる地域の交流拠点となっています。 ▶ふらっとすぎはち（指定管理者ホームページ） https://furatto-sugihachi.jp/
32	地域の身近な公共施設等を活用して、単身世帯の方も含めた様々な年代の方が誰でもふらっと立ち寄れる「交流・相談・運動・学び」をテーマとした各種講座やイベントを開催し、心身ともに健やかな、ライフスタイルを共有・実践できる環境をつくる。	既存事業の拡充等にて実施	集会施設やスポーツ施設において、「交流・相談・運動・学び」などをテーマとした様々な講座やイベントを開催しています。
33	区が住民に対して話し相手を提供する。	既存事業の拡充等にて実施	ご提案の類似事業として、すぎなみ協働プラザでは誰でも自由に参加し、興味のあることなどを自由に話し合うことができる「ゆるプラ」を実施しているほか、杉並区社会福祉協議会では誰もが気軽に立ち寄れるつどいの場「きずなサロン」を実施している等、区内各所において地域の方が気軽に交流できる場が提供されています。 ▶ゆるプラ（すぎなみ協働プラザホームページ） https://member.sugi-chiiki.com/nposupport/yurupla/ ▶きずなサロン（杉並区社会福祉協議会ホームページ） https://www.sugisyakyo.com/suishin/small.html
34	体育施設を整備する。体育施設には図書館やキッズルームを併設する。	既存事業の拡充等にて実施	区の体育施設として、運動場10か所、体育館6か所、プール5か所があり、それぞれの施設の状態を見ながら施設の長寿命化に向けて適切に修繕等を実施して行きます。 キッズルームは上井草スポーツセンター、荻窪体育館、大宮前体育館に、妙正寺体育館には保育スペースを設置しています。既存の体育施設には運動に必要な諸室が整備されているため、既存の体育施設において新たに図書館機能を追加することは難しい状況です。 ▶スポーツ施設（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/kusei/gaiyou/shisetsu/genre/sports/index.html
35	シニア世代の「地域デビュー」を促進するため、趣味やボランティア活動団体の検索ができるアプリを開発する。また、企業と連携してアプリの広報をする。	既存事業の拡充等にて実施	区では、令和3年10月から「すぎなみ福祉サーチ」というサイトで高齢者の地域の「集いの場」を、地域や活動内容等から検索できるシステムを整備しています。このすぎなみ福祉サーチは、区ホームページからアクセスでき、1か月当たり250回程度（令和6年度平均）の閲覧実績があります。 今後とも、当サイトの周知等に務めていくこととしており、ご提案いただいた企業と連携した広報活動に関するアイデアは、今後の取組の参考とさせていただきます。 ▶すぎなみ福祉サーチ（委託業者ホームページ） https://carepro-navi.jp/suginami
36	高齢者を対象にスマートフォンやパソコンの講座を開催し、インターネット詐欺の防止を図る。あわせて、病院の予約やオンラインショッピングなど、インターネットを活用した生活に必要なスキルを習得することで、日常の利便性を高め、生活の質の向上を目指す。	既存事業の拡充等にて実施	技術の進展が著しい今日において、誰もがデジタル化のメリットを実感できるよう、行政として取り組んでいくことは大変重要であり、こうした認識の下、区では昨年10月に、デジタルに関して様々な相談ができる「すぎなみデジタルなんでも相談窓口」を開設しました。 この窓口では、利用者からの相談を受けるだけでなく、行政のデジタルサービスの利活用促進やインターネットトラブルへの対応などを行っています。 また、相談窓口のほかにも、デジタル関連セミナーを毎月開催しており、デジタル技術を活用して、区民が安心・便利に暮らし続けられるよう支援しています。 ▶すぎなみデジタルなんでも相談窓口（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s005/22322.html

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
37	認知症の方などが利用する「希望をかなえるヘルプカード」をより多くの方の手に取ってもらえるよう、デザインを親しみやすいものにするほか、区窓口や出先機関、ケア 24、病院商店などでカードを配布する。また、「希望をかなえるヘルプカード」普及のための講座を各地域で実施する。	既存事業の拡充等にて実施	令和 8 年 3 月に改訂した「認知症あんしんガイドブック（認知症ケアパス）」は、認知症のご本人の声を反映し、前向きな気持ちで活用していただける内容にするとともに、区の公式キャラクターであるなみすけやナミーをプリントした「希望をかなえるヘルプカード」を、切り取って利用できるようにしました。この改訂版については、配布場所を拡充し、ヘルプカードの更なる普及啓発を図っているところであり、ご提案いただいた「普及のための講座」の実施は、今後の参考とさせていただきます。 ▶認知症あんしんガイドブック（認知症ケアパス）（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s039/1190.html
38	区施設で、シニア向けの” ゆるい ” 運動講座を実施する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、体育施設の指定管理者やコミュニティふらっとの運営事業者が実施する自主事業として、以下のとおり、シニアの向け講座を多数実施しています。 ・体育施設 脳トレリズム体操、転倒防止イス体操 等 ・コミュニティふらっと シニア向けヨガ、体操
39	高齢者の孤立防止や健康増進を目的として、ラジオ体操に参加した高齢者に対して銭湯無料券などのインセンティブを付与する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、以下のとおりご提案と類似した事業を実施しており、引き続きこれらの事業を通して、区民の方の孤立防止や健康づくり支援に取り組んでまいります。 ・杉並区健康アプリ「なみチャレ」 歩数・健（検）診の受診・各種健康イベント参加・ウェルビーイングに寄与する取組などに応じたポイントを付与するほか、健康情報の配信など、健康意識の動機付けや主体的な健康づくりを応援するアプリ。当アプリは、孤立防止や健康増進を目的として、区内施設の利用やラジオ体操参加に対するポイント付与を行っています。貯めたポイントは、応募・抽選の上、電子マネー等の様々な景品に交換できます。 ・ふれあい入浴 65 歳以上の区民の方が週 1 回 100 円で公衆浴場が利用可能です。 ・長寿応援ポイント事業 60 歳以上の区民の方を対象に、概ね 1 時間以上の社会活動等に参加したポイントを取得し、貯めたポイントを区内共通商品券に交換又は各種基金等へ寄付が可能となります。 ▶杉並区健康アプリ「なみチャレ」（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/22717.html ▶ふれあい入浴（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s038/1176.html ▶長寿応援ポイント事業（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/kenkou/kourei/ikigai/choujuouen/index.html
40	フレイルからの健康回復や健康寿命延伸のために「健康な生活習慣」を身につけるテキストの発行や動画配信を実施する。具体的には、栄養・運動・休養・社会参加などを分かりやすくまとめたテキストと動画を作成し、自己チェックや生活スケジュール作成を促すことで、区民が自主的に健康づくりに取り組める環境を整備する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、区民の方の健康的な生活習慣をサポートするため以下を実施しています。 ・「健康づくり実践ガイド集」の発行 健康的な生活習慣を積み重ねていくために、生活に取り入れていただきたい工夫を掲載。 ・「はつらつ手帳（杉並区介護予防手帳）」の発行 利用した方が自分で目標を立て、計画をし、取り組んだ成果を知ることができる冊子。目標を設定するためのヒントとして高齢者の介護予防のポイントを 4 つ（体力づくり・口の健康・食生活・社会参加）や認知症予防について掲載。 ・「すぎなみ健康チャンネル」の配信 各種健康づくり講演会、教室、食育に関連した動画、その他健康づくりに関する情報等を配信。 今後も栄養・運動・休養・社会参加などを分かりやすくまとめたテキストと動画を作成し、自己チェックや生活スケジュール作成を促すことで、区民が自主的に健康づくりに取り組める環境を整備していきます。 ▶健康づくり実践ガイド集（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/2177.html ▶はつらつ手帳（杉並区介護予防手帳）（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s048/1172.html ▶「すぎなみ健康チャンネル」（YouTube） https://www.youtube.com/channel/UCC3aWqmwYn1oq31-iKh7P6A
41	補聴器相談医がいる医療機関名、及び認定補聴器技能者がいる専門店リストを公表する。また、自身で聞こえをチェックできるリストを作成・配布する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、令和 5 年 6 月に高齢者補聴器購入費助成を開始したことを契機として、区窓口やケア 24 等で聞こえのチェックリストを掲載したリーフレットを配布したり、区ホームページ等で区内補聴器相談医名簿、認定補聴器技能者がいる専門店リストを公表したりするなど、聴力が低下した高齢者の補聴器使用等を支援しています。 ▶高齢者補聴器購入費助成（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s039/1170.html

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
42	高齢者施設でこども食堂を実施することで、地域交流の活性化を図る。	既存事業の拡充等にて実施	現在、区内6か所の高齢者施設において、こども食堂が実施されています。こうした取組は、施設運営事業者の自主的な判断によるものであり、区では、ご提案の趣旨を踏まえ、区内の高齢者施設に対し、こども食堂支援事業に関する情報提供を行ったところです。
43	ウォーキング・ジョギングコースを整備する。	既存事業の拡充等にて実施	区ではマップ等のウォーキングに関する情報発信やジョギングコースの整備をしています。また、杉並区健康アプリ「なみチャレ」でもウォークラリーコースを掲載しており、今後も周知に努めてまいります。 ▶区内のウォーキング情報（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/2182.html ▶ジョギングコース（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s032/612.html ▶杉並区健康アプリ「なみチャレ」（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/22717.html
44	ウォーキングイベントを実施する。	既存事業の拡充等にて実施	区主催・後援等により、以下のウォーキングイベントが実施されています。 ・公園から歩く会 区がNPO法人杉並さわやかウォーキングに委託し、65歳以上の区民を対象に、令和7年度は10会場で90回実施予定 ・区民歩こう会（杉並区スポーツ振興財団主催） 区内在住・在勤・在学の方を対象に令和7年度は2回開催 ・史跡散歩 杉並区史跡散歩地図を使用し、史跡に関するクイズに答えると景品がもらえるクイズラリーを実施。ほか、区の後援事業として、杉並郷土史会が史跡散歩のイベントを実施。 今後も様々なウォーキングイベントを実施していきます。 ▶公園から歩く会（NPO法人すぎなみさわやかウォーキングホームページ） https://sawayaka-walking.sakura.ne.jp/information1.html ▶区民歩こう会（杉並区スポーツ振興財団ホームページ） https://sports-suginami.org/contents/code/r_arukoukai ▶史跡散歩（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s113/7569.html
45	多世代の方が参加できる運動会などのスポーツイベントを開催する。	既存事業の拡充等にて実施	多世代の方が参加し、交流できるスポーツイベントとして、以下の事業及び取組の支援をしています。 ・区スポーツ祭、スポーツ・レクリエーション大会（主催：杉並区、杉並区教育委員会、杉並区スポーツ協会、杉並区スポーツ・レクリエーション協会、公益財団法人杉並区スポーツ振興財団） バウンドテニス、インディアカ、ソフトバレーボールなどのニュースポーツの大会で、勝つことだけでなく、交流することを目的に開催。 ・さわやかスポ・レク大会（主催：杉並区スポーツ・レクリエーション協会、後援：杉並区）、ふれあいスポ・レクまつり（主催：杉並区スポーツ・レクリエーション協会、共催：杉並区スポーツ振興財団） スポーツ・レクリエーション協会加盟団体等のニュースポーツ種目の周知、愛好者拡大を目的に開催。 ・すぎなみ みんなの大運動会 区内の30歳以下の有志にて結成される「すぎなみU30ミーティング」が企画・運営する多世代が参加できる地域の運動会。 ▶杉並区スポーツ祭、スポーツ・レクリエーション大会（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s032/626.html ▶さわやかスポ・レク大会、ふれあいスポ・レクまつり（杉並区スポーツ振興財団ホームページ） https://sports-suginami.org/contents/code/r_ev_sprc ▶すぎなみU30ミーティング（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s113/7878.html

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
46	区主催のマラソン大会を実施する。	既存事業の拡充等にて実施	区内では類似の取組として以下の事業及び取組の支援をしています。 ・杉並区中学校対抗駅伝大会 都立済美山運動場をメイン会場とし、公道を含む周回コースを1チーム5人でタスキをつなぐ区内中学校対抗の駅伝大会。 ・杉並ロードレース（主催：杉並区陸上競技協会、後援：杉並区） 高井戸公園をメイン会場とし、5Kmの部、10Kmの部がある。区外からの参加も可能。 ・すぎなみ名物・ファミリー駅伝（主催：杉並区スポーツ振興財団、後援：杉並区） 蚕糸の森公園運動場を会場に、1チーム4人でタスキをつなぎ、宣言タイム制（目標タイムを事前に申告し、時計を見ずに走る）で行う駅伝。速さを競わないので子どもから大人まで、障害の有無に関わらず参加可能。 なお、区内には河川敷や大規模な公園がなく、また公道をコースにした新たなマラソン大会の開催は高額な費用がかかるため、近隣自治体の開催状況などを勘案し、区が新たに開催する意義については慎重に検討する必要があると考えます。
47	区の体育施設の無料開放日を月2回設ける。また、区内在住の障害者・65歳以上の高齢者を対象に利用料金を無償化する。	既存事業の拡充等にて実施	区では以下の取組を通じて、区民の方の体育施設の利用負担軽減や利用促進に努めています。 ・スポーツフェスティバル 区内の全ての体育施設で10月の「スポーツの日」に合わせて開催する、参加費無料のスポーツイベント。 ・区内在住在学在勤の高校生相当までを対象とした体育施設の一般使用料等の無償化 令和8年4月1日より、事前の登録により、無償化（免除）を新たに実施。 ・区内在住の65歳以上の方を対象とした、一般使用料等の減額時間帯の拡大。 令和7年10月より、区内在住の65歳以上の方を対象に温水プールとトレーニングルームの体育施設の使用料等の減額の時間帯を拡大。 ・障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳または特定医療費（指定難病）受給者証の提示による一般使用料等の減額 ・ユニバーサルタイム 参加者が障害の種類や程度、好みなどに応じて種目や内容を選択することができ、適切な指導を受けながらスポーツ・運動を気軽に楽しめる無料のプログラム。 これらを含めた様々な取組により、体育施設を利用しやすい環境づくりを進めているため、ご提案いただいた頻度や内容による無料開放日の新たな実施については慎重に検討する必要がありますが、今後も多様な企画等を通じて、体育施設の魅力向上と利用促進に努めてまいります。 ▶ユニバーサルタイム（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s032/636.html
48	熱中症の恐れにより、夏に遊ぶことができない子どものために屋内で運動できる機会を提供する。	既存事業の拡充等にて実施	区の体育施設では、夏に限らず「子ども運動広場」と子どもの一般使用の時間において子どもが屋内で運動が出来る機会を提供しています。コミュニティふらっとの運営事業者が実施する自主事業として、子どもが屋内で体を動かせるプログラムを実施しています。 区立の児童厚生施設である児童館及び子ども・子育てプラザにおいては、身体を動かし安全に遊ぶことができる機会を提供しています。
49	ラジオ体操イベントを実施する。	既存事業の拡充等にて実施	ラジオ体操は、既に地域団体等が区内各所で実施しています。
50	健康に自信が無い人や、車いすでも参加できる健康イベントを開催する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、体育施設の指定管理者やコミュニティふらっとの運営事業者が実施する自主事業として、様々な運動強度に応じた講座を実施しています。また、障害のある方が、障害の種類や程度、好みなどに応じて種目や内容を選択することができ、適切な指導を受けながらスポーツ・運動を気軽に楽しめる「ユニバーサルタイム」を各体育施設で定期開催しています。 ▶ユニバーサルタイム（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s032/636.html
51	誰もが一緒に楽しめるユニバーサルスポーツの普及を目的として、区内の施設にボッチャセットを配備し、貸出を行うほか、定期的に初心者向けの体験会等を開催し、未経験者でも気軽に参加できる機会を創出する。また、学校教育にボッチャを導入するほか、ボッチャ交流イベントを開催する。	既存事業の拡充等にて実施	荻窪体育館、大宮前体育館、上井草スポーツセンターなどの体育施設では地域団体へボッチャセットの貸し出しを実施しています。また、上井草スポーツセンターでは、ボッチャ教室や体験会を実施しています。 学校教育へのボッチャ導入について、既に一部の区内小中学校にて、体育の授業や休み時間の活動としてボッチャを実施しているものの、学習指導要領の体育科における運動の例示の中に「ボッチャ」の記載はないため、現時点で区教育委員会から各区立学校へボッチャの取組を推奨することはないことから、実現は難しい状況です。

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
52	様々な方が情報にアクセスできるよう、手話広報、点字広報、音声広報、リレーサービスを実施。	既存事業の拡充等にて実施	区では様々な方が情報にアクセスできるよう、ご提案に関連して以下の取組を実施しています。 ・手話広報 広報番組、区長記者会見で実施。 ・点字広報、音声広報 広報すぎなみの点字版または音声版を希望者に個別配送しているほか、点字版は図書館や区民センターなどに配架し、音声版は区ホームページに掲載。 ・電話代理支援サービス 聴覚に障害のある方が自宅からスムーズに区役所や区立施設に問い合わせできるサービス。ビデオ通話等を通じて聴覚に障害のある方からの問い合わせを手話やチャットにて杉並区専用コールセンターの通訳オペレーターが受け付け、通訳オペレーターがご本人の代わりに杉並区役所に音声電話をかけるもの。 ▶広報すぎなみ音声データ（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/kusei/kouhou/kouhou/kouhou/onsei/index.html ▶電話代理支援サービス（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s036/18772.html
53	多様な主体や世代が歌や楽器演奏、ダンス、演劇、絵画・工芸作品などを披露するイベントを開催する。	既存事業の拡充等にて実施	区では多様な主体が文化活動を発表できる場として、以下のイベントを実施しています。 ・杉並区総合文化祭（共催：杉並区文化団体連合会/杉並区/杉並区教育委員会） 杉並区文化団体連合会に加盟する団体が歌謡、舞踊、演奏等を披露するほか、一般の区民の方も参加可能な区民絵画展、カラオケ大会等を実施。 ・大人塾まつり（主管：大人塾まつり実行委員会、共催：すぎなみ大人塾連/杉並区教育委員会） 地域・学校等で活動する団体が、演劇、演奏、ダンス等の発表を実施。 ▶第72回杉並区総合文化祭（区ホームページ） https://www.sesion-suginami.jp/event/hall/5552 ▶大人塾まつり2025（セシオン杉並ホームページ） https://www.sesion-suginami.jp/event/zenkan/4448
54	アート制作体験や作品展示などを実施する多世代交流型アートイベントを開催する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、アートに関する体験型イベントとして、以下の取組を実施しています。 ・バタ・アート・マルシェ（主催：すぎなみ戦略的アートプロジェクト※） アート作品の展示・販売、音楽や映像の公開上映・上演などを実施。 ・バタ・アート・ワークショップ（主催：すぎなみ戦略的アートプロジェクト※） 誰でも参加できるものづくりワークショップを実施 これらのイベントは、アーティストやアートに関心がある区民などが集まり開催している「アート・ファン・ミーティング（主催：すぎなみ戦略的アートプロジェクト※）」で企画を行っており、提案の「多世代交流型アートイベント」については、この会議体の中で、研究してまいります。 ※杉並区・NP0 法人チューニング・フォー・ザ・フューチャーとの協働事業 ▶すぎなみ戦略的アートプロジェクトホームページ https://www.suginamiart.tokyo
55	区内のホールで映画祭を開催。映画の内容は明るく前向きなものするほか、監督やキャスト等を招きトークセッションを実施する。	既存事業の拡充等にて実施	映画祭については、杉並芸術会館（座・高円寺）において、「ドキュメンタリーフェスティバル」を実施しており、監督等によるトークセッションも行っています。 ご提案の「映画の内容は明るく前向きなものする」という趣旨につきましては、図書館や地域区民センターなどの区立施設においても映画上映を行っておりますので、主催者にお伝えしてまいります。
56	屋台やワークショップ、健康診断ブースのある「健康縁日」を開催。区にゆかりのある著名人を招き集客力を高め、心と身体の健康や地域交流の促進等を図る。	既存事業の拡充等にて実施	区では毎年以下のとおり、ご提案と類似する健康に関するイベントを実施しており、今後も周知に努めてまいります。 ・区民健康フォーラム（主催：杉並区医師会、共催：杉並区） セシオン杉並にて、健康や医療に関する体験展示コーナーや著名人による講演を実施。 ・よい歯健口フェスティバル（主催：杉並区歯科医師会、共催：杉並区） 歯と口腔に関する健康イベントで、健康や医療に関する体験展示コーナーや専門家等による講演を実施。 ・すぎなみフェスタ（主催：すぎなみフェスタ実行委員会、共催：杉並区/杉並区教育委員会） 地域団体や企業等と実施するイベント。例年、一般団体が健康相談のできるブース等を1～2程度出店。 ・女性のためのトータル測定フェア 身体機能の測定を実施。

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
57	社会的孤立の解消を目的として、区が地域サークルの活動を支援する。サークル同士が意見交換できる場を設けるほか、外部講師による運営ノウハウ講座の開催などを実施する。また、多くの方に参加いただけるよう、区がサークル活動参加者ヘインセンティブを付与する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、区民の方の地域活動支援として以下を実施しています。頂いたご意見も参考にしながら、引き続き地域活動の支援に取り組んでまいります。 ・すぎなみ地域大学 地域とつながりたい、地域活動を始めたいと思う区民のためにさまざまな講座を実施。 ・すぎなみ協働プラザ 区が地域活動団体への中間支援組織として業務を委託しているすぎなみ協働プラザで月に１回、地域活動者や団体に限定せず誰でも自由に参加し、興味のあること、地域の課題・悩みなどを持ち寄りフラットに話し合う「ゆるプラ」を実施。また、地域活動に役立つ各種講座イベントを開催。 ▶すぎなみ地域大学（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/daigaku/index.html ▶すぎなみ協働プラザ（すぎなみ協働プラザホームページ） https://member.sugi-chiiki.com/nposupport/
58	幅広い世代の方が参加できるフォークダンスイベントを開催する。ダンスエリアの周りには血压測定などの健康に関するブースを設置する。	既存事業の拡充等にて実施	区、区教育委員会、杉並区スポーツ協会、杉並区スポーツ・レクリエーション協会、公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が主催して実施する、杉並区スポーツ祭、スポーツ・レクリエーション大会では、毎年、杉並区フォークダンス連盟によるフォークダンスイベントを実施しています。 地域では多様な主体によってさまざまなスポーツ種目が住民の自発的な活動として実践されており、フォークダンスといった特定の種目に着目した取組の実施については、公平性の観点から慎重な対応が求められます。 スポーツイベント等で健康に関するブースを設けるご提案については、今後の健康啓発の取組の参考とさせていただきます。
59	幅広い世代の方が参加できる昔遊びイベントを開催する。	既存事業の拡充等にて実施	11 月 1 日が「古典の日」として制定されたことを受け、昔遊び体験や日本の伝統芸能を気軽に鑑賞・体験できる「古典の日事業」を、杉並芸術会館(座・高円寺) やセッション杉並、すぎなみフェスタ等で実施し、幅広い世代の方にご参加いただいております。
60	1 年を通じて気温が上昇しているため、子どもの多い杉並区に AED を増設する。	既存事業の拡充等にて実施	現在、区が設置する AED は、区役所をはじめ区民事務所、区民センター、ゆうゆう館、保育園、学校、図書館、公園、スポーツ施設等の区立施設、清掃関係や安全パトロール隊の車両などのほか、区民で組織するまちかど救急隊への配置としてコンビニエンスストアなど、計 390 台を設置しております。また、一般社団法人日本救急医療財団が管理する AED 設置登録情報では、区内には、区が設置している AED を含め 900 台以上が登録されており、民間での設置も進んできております。 ▶AED（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s045/1474.html
61	育児による経済的不安を払拭することを目的に、乳児のおむつ代の助成を実施する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、乳児を持つ家庭に対する経済的支援として、妊婦のための支援給付（妊娠時 5 万円・出産時 5 万円）を実施しており、今後も本事業等を通じて子育て世帯への経済的支援に取り組んでまいります。 また、東京都においては、子育て支援策として「0 1 8 サポート」（18 歳までの子ども一人につき月額 5,000 円）や、「赤ちゃんファーストギフト」（出産時に 10 万円相当のギフト（おむつ等を選択可能）を提供）を実施しております。 ▶妊婦のための支援給付（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s054/1125.html ▶0 1 8 サポート（東京都ホームページ） https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/kosodate/018 ▶赤ちゃんファーストギフト（東京都ホームページ） https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/shussan/tokyo_shussankosodateouen
62	困りごとを抱えている人を可視化するためのアンケートを実施するほか、悩みや相談事を共有し互いに助け合える機会の提供やネットワークを構築する。	既存事業の拡充等にて実施	区では地域支え合いの仕組みづくり事業を実施しており、世代や分野を問わず地域住民の相談を受け止め、必要な関係機関や地域活動等につないでいます。事業の中では、地域の求めに応じて地域のニーズや課題を把握するためのアンケート調査を実施し、地域団体と地域住民のネットワークを構築するなどして、地域住民が地域の課題を解決できる仕組みづくりを行っています。引き続き本取組を通して、地域の方の困りごとの解決や地域の支え合いの仕組み構築に取り組んでまいります。
63	喫煙マナーの啓発や喫煙所の整備を推進する。	既存事業の拡充等にて実施	区では以下の通り公衆喫煙所の整備、喫煙マナー向上のための啓発活動等を実施しており、引き続き分煙環境の整備と意識啓発に取り組んでまいります。 ・区内 13 箇所（民間 2 箇所）の公衆喫煙場所を設置運営 ・路面標示補修・設置及びチラシ等の作成 ・民間の公衆喫煙場所設置助成制度事業（補助率 10 分の 10：補助限度額 400 万円） ▶公衆喫煙場所設置助成制度（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s102/689.html

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
64	区内の路上にあるオープンエアになっている喫煙スペースを密閉型(ボックス型)にして受動喫煙を軽減する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、区内 13 箇所（民間 2 箇所）の公衆喫煙場所を設置運営しており、令和 7 年度にそのうち荻窪駅南口の喫煙場所を密閉型のコンテナ型喫煙所へ改修します。 既存の公衆喫煙所の密閉型の喫煙設備への改修や新規設置については、経費面のほか、法令、交通、防災等の課題の面から、引き続き検討してまいります。
65	区民がジェンダーについて学び、生きづらさを解消する機会を増やすため、それぞれの世代で影響力のある人と区がコラボしてジェンダーに関する講演会や動画配信を行う。また、学校にて、親子でジェンダーについて学べる機会を創出する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、ジェンダーやワーク・ライフ・バランス等人々の生きづらさに繋がる多様なテーマを取り上げる「男女平等推進センター啓発講座」を、年間を通じて実施しております。女性学研究の第一人者である上野千鶴子さんの講演会など、幅広い世代に支持されている著名な講師をお招きする企画も行っております。なお、当該施設をより多くの方にご利用いただくため、講座は対面で実施しております。 また、学校では、国が示した学習指導要領や東京都教育委員会が示した人権教育プログラムに基づいて人権教育の年間指導計画を作成し、全教育活動を通じて計画的・組織的に実施しています。学校で扱うべき人権課題は 17 項目にわたり、そこにはジェンダーに関するものも含まれています。 頂いたご提案については、今後のジェンダーに関する啓発活動事業の参考とさせていただきます。
66	区内の小中学校にグリーンカーテンを設置し、夏の暑さ対策と環境学習の両立を図る。	既存事業の拡充等にて実施	杉並区立学校施設整備計画 第 3 章「学校施設の目指すべき姿」では、「環境にやさしい施設づくり」を掲げ、エコスクール化の推進に取り組んでいます。その一環として、壁面緑化を現在、小学校 22 校、中学校 2 校で実施しています。 壁面緑化の導入にあたっては、プランター設置スペースの確保や、屋上にネットを張るための設備などが必要であり、学校運営に支障がないこと、安全性の確保が不可欠です。 そのため、実施に際しては、学校と十分調整し、その意向を踏まえて検討していきます。
67	保育施設や幼稚園等を通じて、保護者及び保育士等の教育者に、散歩時の歩行マナー、自転車走行マナー等の啓発を実施。	既存事業の拡充等にて実施	散歩時のマナーについては、各施設の施設長が集まる連絡会等で周知・啓発を行っています。 自転車利用の適正化については、要望があった私立保育所等において「出前型自転車安全利用講習会」を実施しています。
68	太田黒公園記念館のピアノを用いたコンサートを開催する。コンサートは、ピアノを通して「樹」を感じ、樹木の成長に不可欠な「水」や「空気」にまつわる演目で構成するものとする。	既存事業の拡充等にて実施	太田黒公園の指定管理者の自主事業として、記念館のピアノを用いたコンサートは既に実施しています。演目に関するご提案内容については、指定管理者に共有いたします。
69	ヒートショックやアレルギーのリスクを軽減するため、区民に温度・湿度測定器を貸し出し、自分の住宅の生活空間における温熱環境を確認し、その結果について専門家からフィードバックを受けることができる事業を実施。断熱改修を検討する区民には、都や区が実施する補助制度を案内する。	既存事業の拡充等にて実施	東京都が「戸建住宅省エネ等リフォームアドバイザー派遣」を実施しています。また、杉並区では「増改築無料相談」や「省エネなんでも相談」を実施するとともに、杉並区立環境活動推進センターにてデジタル温度計をはじめ、各種測定機器の貸し出しを実施しています。区ではこのような事業が活用されるよう引き続き周知に努めてまいります。
70	社交ダンスを地域の健康づくりと交流促進に活用。無料体験会や初心者講座、学校・福祉施設との連携、地域イベントでの披露、練習場所確保や講師派遣などのサークル支援を実施する。	既存事業の拡充等にて実施	区では、区民の皆様が生涯にわたりスポーツを楽しめる環境づくりを推進しており、ダンススポーツ連盟との共催による「ソーシャルダンス体験会」や、後援による「杉並区ダンススポーツ大会」などを通じて、ダンススポーツの普及と正しい理解の促進に努めております。 なお、地域では多様な主体によってさまざまなスポーツ種目が住民の自発的な活動として実践されており、社交ダンスといった特定の種目に着目した取組の実施については、公平性の観点から慎重な対応が求められます。 今後も、ダンススポーツを含めた生涯スポーツの普及に向けた取組を継続してまいります。
71	「生理の貧困」の解消に向け、区に関係する全ての施設で生理用品の無料配布実施するほか、子ども食堂での生理用品の配布を支援する。 そのほか、生理用品や生理痛・PMS のための市販薬の購入費用を補助する。	既存事業の拡充等にて実施	区では現在、区役所本庁舎、くらしのサポートステーション、福祉事務所、地域区民センター、区立小中学校にて生理用品の無料配布を実施しており、令和 8 年度より新たに男女平等推進センター、児童青少年センター、保健センター（5 か所）、コミュニティふらっと（永福、高円寺南）での無料配布を開始します。 区関連施設への設置拡大、子ども食堂への生理用品設置支援については、引き続き関係部署間で連携しながら検討してまいります。 なお、生理用品や市販薬の購入費用助成については、既存の取組との棲み分けやその費用対効果等の観点から課題があると考えます。
72	ガーデニングはメンタルヘルスに有効とされることから、公園の花壇整備などを行うボランティア活動である「花咲かせ隊」に、心の不調や孤独感を抱える住民の参加が健康増進目的で参加できるよう、既存の会員に講習や研修を実施する。	引き続き検討	「花咲かせ隊」は、長年活動をともにしてきたメンバーで構成されており、既存のグループにおける新規参加者の受け入れ実績は多くない状況にあります。そのため、メンタルヘルスの向上を目的とした住民の参加については、既存メンバーの意向や活動の継続性に配慮したうえで、どのような形で受け入れが可能か、効果的な実施方法を慎重に検討する必要があります。 頂いたご提案については、花咲かせ隊の皆さまの意見を伺いながら、地域にとってより良い運営方法を引き続き模索してまいります。
73	桃井原っぱ公園に乳幼児から小学生までがそれぞれ遊べる大型遊具を設置する。	引き続き検討	桃井原っぱ公園は防災公園に位置付けられており、災害時にはヘリコプターの発着場としての利用も想定されており、大型遊具の設置については課題がある状況です。

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
74	現在犬の連れ込みが禁止されている公園を、小規模ドッグランに改修したり犬の連れ込みを可能にするよう公園ルールを改定することにより、犬を介して多世代がつながり合える場とする。	引き続き検討	区では、和田堀公園内に区立ドッグランを整備しているほか、管理事務所を配置している 10 か所の区立公園において、犬の連れ込みを可能としています。一方で、新たに犬の連れ込み可能エリアを拡大したり、公園を小規模ドッグランへ改修するには、近隣住民の皆さまの理解や合意形成が不可欠です。また、管理事務所がなく職員が常駐しない公園では、利用マナーの指導や安全確保が十分に行えないことが課題となっています。 これらの点を踏まえ、利用者が安心して公園を利用できる環境づくりを目指しながら、ご提案の趣旨を参考として、引き続き適切な対応方法を検討してまいります。
75	運動不足の解消や地域交流の活性化を目的として、空き地や小さなスペースを活用して、小規模な公園を整備する。	引き続き検討	区には、338 箇所の区立公園や児童遊園があります。新規の公園整備については、地域のニーズ等を見極めながら検討してまいります。
76	子どもがスポーツクラブ加入した場合に、月謝の一部を補助する。	引き続き検討	スポーツ行政は、スポーツのきっかけづくりや、スポーツによる仲間づくり等を推進していることから、本提案にあるようなクラブに所属して能力を高めるような活動への金銭的支援については、実施の予定はありません。
77	科学的に効果が証明されているインターバル速歩の講習会を区内で定期的を開催するため、区がインターバル速歩のインストラクター養成に係る補助を実施する。	引き続き検討	インターバル速歩は、幅広い年代に効果があり装備も少なく手軽できる運動であるため、講演会の開催に一定の効果はあると考えますが、都内自治体での導入は少なく、集客面での課題があることからご提案の内容については、課題を見極め引き続き検討してまいります。
78	早期退職の防止を目的として、入社した会社に 1 年以上勤務した若者に対し杉並区で利用できる割引券を配布する。	引き続き検討	株式会社リクルートマネジメントソリューションズが 2023 年 11 月に公開した「新人・若手の早期離職に関する実態調査」の結果では、入社 3 年目以下社員の退職理由の 1 位は「労働環境・条件がよくない」となっており、早期退職を防ぐためには、企業側への働きかけや、就職後の相談支援を行うことなどが重要だと認識しています。 一定期間継続して勤務した方に割引券を給付することについては、このような背景や費用対効果等も踏まえて、慎重な対応が必要になります。
79	外出ができない人等の社会的孤立を防ぐため、自宅にいながら人との関わりを持つことができるメタバース空間を整備する。	引き続き検討	メタバースの構築については、費用面等も含め、他自治体等の情報を収集しながら引き続き効果・効率的な方法を検討してまいります。 なお、令和 7 年度より、ひきこもり支援推進事業として、LINE による当事者等からの相談対応を実施しています。メタバースのような当事者間の交流はできないものの、本取組は提案者の目的である社会的孤立の防止には寄与するものと認識しています。 また、区では、区内小中学校に在籍し、さざんかステップアップ教室（適応指導教室）に通う不登校児童・生徒のうち、希望者を対象に、東京都が提供するバーチャルラーニングプラットフォームを利用できるようにしています。 ▶ひきこもり相談窓口「ゆるりと杉並」（委託事業者ホームページ） https://yururi-to-suginami.jp/
80	AI に対してメンタルヘルスの相談ができるプラットフォームを作り、相談のハードルを下げる。	引き続き検討	相談相手を AI とすることで、相談に対する心理的なハードルを下げる可能性がある一方で、AI による対応には、共感や専門的な助言など一定の限界があることも踏まえる必要があります。メンタルヘルスの相談対応には十分な配慮が求められることから、導入については慎重に検討してまいります。
81	若者が「堅苦しい」印象を抱いているメンタルヘルスの相談環境を改善し、必要な人が相談窓口を利用できるよう、区と大学生が連携して動画配信、ワークショップ等を通じた啓発キャンペーンを実施する。	引き続き検討	区では区内大学と協働して自殺予防月間の周知ポスターを制作、掲示しているほか、大学におけるゲートキーパー研修を実施するなど、大学との連携を進めています。 大学生と連携した啓発キャンペーンは、若者の相談窓口の認知向上や相談への心理的なハードルを下げる意義のあるものと考えられますが、メンタルヘルスに関する情報発信や取組については、内容や表現等への配慮が求められるため、方法や体制については慎重に検討してまいります。
82	待機児童の解消と高齢者の孤立防止を目的として、新たに保育施設を整備する。さらに、その施設を 17 時から 21 時まで高齢者に開放し、地域交流の場として活用することで、地域のつながりを促進する。	引き続き検討	区内の保育施設の整備状況及び利用状況を鑑み、区では現在、保育施設の新設は予定しておりません。また、ご提案にある 17 時から 21 時の時間帯は保育施設の延長保育の時間と重なるなど、保育施設の夜間開放については様々な課題がある状況です。 現在、高齢者の「憩い」「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」の場としては、区内 26 か所のゆうゆう館及び高齢者活動支援センターにおいて、夜間の時間帯も含めて、各種講座や映画鑑賞会、コンサート等の協働事業等を延べ 9220 回（令和 6 年度実績）実施しております。 ▶ゆうゆう館（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s038/1198.html ▶高齢者活動支援センター（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/s038/1200.html

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
83	空き家を利用したイベントスペース、カフェ、自習スペースを整備し、地域住民の交流の場とする。	引き続き検討	行政が空き家所有者から借りて事業を行う場合、賃貸借契約（事業の継続性を考えると長期的な期間が必要）や使用用途に応じた改修工事、その後の維持管理などが必要であり、個人の財産である空き家を公有財産と同様に扱うことは難しいため、実施については課題を見極め慎重に検討する必要があると考えます。 なお、現在区では空き家所有者と空き家を活用し地域貢献活動を行いたい方から個別に相談をお受けし、内覧会の場をセッティングするなど、マッチングへの伴走支援をする取組みを始めています。
84	男性を対象として、陣痛の体験、妊婦ジャケットの着用、妊婦の生活制限などの疑似体験等ができる講座を実施することで、妊産婦への理解を促進し、男性の育児休業取得促進等を図る。	引き続き検討	区では、妊婦やそのパートナーの方を対象に、妊婦体験ジャケットの着用等を行う「パパママ学級」を実施しております。 広く男性を対象とした講座については、妊娠・出産への理解を深め、男性の意識改革につながる可能性がある一方で、参加意欲の喚起や集客の確保など、一定の課題があるものと認識しております。 こうした点を踏まえ、講座の実施にあたっての効果や課題の整理も含め、今後慎重に検討してまいります。
85	骨粗鬆症を社会とのつながりに派生するテーマととらえ、地域の医療機関や公園、文化施設等を活用し、地域の高齢者等が主体的に学び・参加するプロジェクトを実施する。区の骨粗鬆症の現状等に関する研究会、ワークショップ、街歩き、食の取組、生活記録づくりを通じ、自ら健康を管理する力と地域コミュニティの結束を高め、参加そのものが健康増進となる仕組みを構築することを目的とする。	引き続き検討	生活習慣改善による骨密度向上の効果が最も高い10代20代と比較して、高齢世代では骨粗鬆症予防効果が低いことや、興味を持つ一部の区民が利用するに留まる可能性が高く、費用対効果および継続性、普及性の観点等からその効果について引き続き検討してまいります。
86	うつ病や認知症のリスクを高める加齢性難聴の早期発見のため、聴力検査を区民健診で実施するほか、早期発見の重要性等に関する情報発信を実施する。	引き続き検討	難聴の早期発見等に係る情報発信については、窓口やケア24等で聞こえのチェックリストを掲載したリーフレットの配布、およびホームページ等で区内補聴器相談医名簿、および認定補聴器技能者がいる専門店リストの公表を行っております。 また、聴力検診の実施について、国は費用対効果を含めて検討が必要であることから必要な知見を収集していくとしているため、区として引き続きその動向等を注視してまいります。
87	子宮頸がん検診の受診率を向上させるため、痛みや苦痛のない検診のあり方を工夫する。	引き続き検討	国の指針に規定される仕様基準を満たした機材に限られる中で、例えば検診実施医療機関に買い替えのための補助金等を支出しても一定程度の苦痛の発生の抑止は難しいと考えます。 また、がん検診を受けない理由の上位は、ア）時間がない、イ）健康状態に自身があり必要性を感じない、ウ）心配な時はいつでも医療機関を受診できるから、となっており（※）、検診の苦痛等は受診を控える主な理由には入っていません。区では現在、がん検診を受けない主な理由を解消するためのアプローチに取り組んでおり、今後も継続してまいります。 ※出典：令和元年7月がん対策・たばこ対策に関する世論調査（内閣府大臣官房政府広報室）
88	解剖生理学に係るオンラインコンテンツを整備する。	引き続き検討	解剖生理学は医療専門職の基礎科目であり内容が専門的であることから、健康意識が低い層への訴求が難しく、事業効果は限定的と考えています。区では、健康運動指導士等と連携した健康づくり教室や、医療専門職が制作した糖尿病予防動画など、親しみやすいテーマによる啓発を進めています。今後、既存の動画コンテンツにおいて、人体の構造や機能に関する要素を適宜盛り込むなど、理解促進につながる工夫を検討してまいります。
89	区内で実施している「健康づくり関連活動」を費用・開催日時等により分類・整理のうえデータベース化し、キーワード検索できるようシステム化する。	引き続き検討	区内では多様な健康づくり活動が行われていますが、情報が分散していて探しにくいという課題は認識しています。検索エンジンでの検索が可能な中、新たなシステム構築をするには、費用対効果の面から課題があると考えますが、区民が主体的に健康づくりに取り組める環境づくりは重要ですので、既存の「すぎなみ健康サイト」の機能拡充等を含め、引き続き検討してまいります。 ▶すぎなみ健康サイト（区ホームページ） https://www.city.suginami.tokyo.jp/kenko/
90	区のイベントや区政参画機会の公平性を高めるため、南北バス「すぎ丸」の路線拡充や区施設の障害者用駐車場の整備等を実施。	引き続き検討	「すぎ丸」の路線拡充については、運転士不足等に伴うバスの減便が相次いでいる中、現状では路線や停留所を増やすことは困難です。 また、現在障害者用駐車場が無い区施設への障害者用駐車場の整備については、スペースの確保等の観点からすぐに整備することは難しいですが、施設の改修等の際には、頂いたご意見や「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」等を参考に検討させていただきます。
91	地域区民センター協議会の活動の充実・機能強化を図るため、区が実施している区民と区長が区政を話し合う会「聴つくオフ・ミーティング」を地域区民センター協議会との協働事業により実施するほか、「すぎなみ大人塾」の地域コースを各地域センターで開催する。	引き続き検討	区としても、地域区民センター協議会の機能強化の重要性については認識しているところですが、その活動の自主性にも十分留意する必要があります。「聴つくオフ・ミーティング」については、その開催趣旨から特定の団体等を対象に開催することは難しいものの、「すぎなみ大人塾」の発想を地域とのつながり・広がりを支援していくため、地域区民センター協議会活動に活用していくことは、その効果や実現可能性も含めて引き続き検討してまいります。

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
92	震災救援所の機能と役割の周知及び、地域住民の交流を目的として、震災救援所避難訓練にて、ユニバーサルスポーツの体験会を実施する。	引き続き検討	震災救援所については、令和7年1月1日に区内全戸へ防災マップと在宅避難チラシを配布し、同日発行の「広報すぎなみ」で区内の小・中学校が震災救援所であることを周知しました。 また、震災救援所訓練は、震災時における避難所運営を目的としたものであり、限られた時間と人員の中で、開設手順やトイレの設営など基本的な訓練を実施する必要があります。ユニバーサルスポーツ体験会は大変有意義のある取組ではありますが、訓練と並行して実施すると、動線管理や安全管理が複雑化するおそれがあります。また、当日の運営負担の増大や目的の分散などから、震災救援所訓練の本来の趣旨と両立が難しいと考えられるため、今回の提案の実施は困難であると考えます。引き続き、震災救援所の機能と役割の周知、そして地域の多様な方々に訓練へ参加いただけるよう努めてまいります。
93	杉並区の地域に密着したショートムービーや中編・長編映画を杉並区在住の映画監督と区民で制作する。	引き続き検討	映画の制作については費用面等を含めその実施効果を見極めてまいります。 なお、区では区が取組や地域の話題・出来事を伝える「すぎなみスタイル」と、地域で活躍する方に焦点を当てて紹介する「すぎなみビット」を、それぞれ7分程度の短編動画として制作し、YouTube 区公式チャンネルで配信しています。 ▶杉並区公式チャンネル（YouTube） https://www.youtube.com/channel/UCei-ZSeT_qlXePnjLxgFoIA
94	笑うと免疫力向上等の健康効果があると言われてことから、毎月1回セッション杉並で有名タレント等を起用した笑える演目を実施する。演目と合わせ、ホール周辺には、医師・カウンセラー・介護士・管理栄養士などの専門家への相談ブースや食品・健康器具等の企業ブースを設置する。	引き続き検討	有名タレントの出演や、医師・カウンセラー・介護士等の配置を含む大規模イベントを年12回開催する内容となっており、実施費用が高額になると考えます。区では健康づくりに関する様々なイベントや健康相談を実施しているため、引き続きこれらの取組を通して、区民の方の健康づくりを支援してまいります。
95	「お金の健康相談室」を常設し、ファイナンシャルプランナーなどの専門家にオンラインまたは対面で生活相談や家計管理、年金、資産形成などの相談ができるようにする。区民は金銭的な不安を軽減し、精神的な安定と自立した生活力を育むことを目的とする。	引き続き検討	区にご提案内容のような相談窓口を設けることについては、公共性や中立性の維持等の観点から課題があると考えます。 なお、暮らしに役立つワークショップとして、消費者センターでは、消費生活に関するテーマを決めて「消費者講座」を定期的に開催しています。この講座を活用して、お金の使い方などの情報リテラシーを身につけるための講座（ワークショップ）を実施することについては検討してまいります。
96	区の施設再編計画の中で用途が変更・縮小された施設や区施設の利用頻度が低いスペースにトレーニングマシンや体組成計等を設置し、新たなトレーニング拠点として整備する。トレーニング拠点には健康運動指導士や理学療法士が定期的に巡回し個々の体力に合った運動プログラムの作成支援をするほか、地域在住の健康づくりに関心のある区民が運営補助をすることで地域住民の交流も促す。	引き続き検討	区内には指定管理のスポーツ施設や民間のスポーツジムも多くあることから、区の既存の施設を新たなトレーニング拠点に改修することについては慎重に検討する必要があると考えます。 また、健康づくりに関心のある住民が、地域の健康づくりをサポートする取組として、区では介護予防サポーターの育成等をしているほか、すぎなみ地域大学にて健康づくりリーダー講座を実施しています。引き続きこれらの取組を通して、住民主体の健康づくりを支援してまいります。
97	ケア24（地域包括支援センター）に管理栄養士を配置し、個人宅に訪問し栄養相談を受ける。	引き続き検討	在宅の要支援、要介護者を対象にした管理栄養士の個別訪問による指導は、介護保険事業の居宅療養管理指導として既に実施していますので、現時点では新たにケア24に管理栄養士を配置し、類似の事業を実施することは考えておりません。
98	子どもの情緒や行動面の強みと困難を把握するための評価ツールであるSDQ（Strength and Difficulties Questionnaire）を利用できるアプリを児童精神科医監修のもとで構築することで、保護者や教員等が子どものメンタルヘルスの変化を早期発見し、重症化を予防できる環境を整備する。	引き続き検討	区では、児童・生徒のメンタルヘルス支援として、以下の取組を実施しています。引き続きこれらの取組を通して、子どものこころの状態の変化の早期発見・必要な支援への接続に努めてまいります。 ・教育相談等運営、学校教育への支援 スクールカウンセラーによる小学5年生・中学1年生の全員面接、児童生徒・教職員・保護者への相談支援、WEBQU(アンケートツール)を利用した児童生徒の実態調査により対応しており、今後も実施する。 ・子どものこころの相談 子ども家庭支援センターに相談のあった18歳未満の子どもの発達や行動への不安について、児童精神科医による相談支援を行い、必要に応じて医療機関に繋げる。 なお、ご提案の類似システムは既に存在するため、区が新たにアプリを構築する必要性を見極める必要がありますが、今後の児童・生徒のメンタルヘルス支援の参考とさせていただきます。
99	地域とのつながりを持たない傾向にある働く世代が、地域とゆるやかにつながることができるよう、ひとりでも気軽に立ち寄れる飲食店、趣味の店、銭湯等や、地域活動の会を掲載した「おひとりさま歓迎マップ」を作成し、区公式LINEアカウント等で周知する。	引き続き検討	「おひとりさま歓迎マップ」は、1人で食事等を楽しみたい方が利用することが想定されるため、働く世代を対象とした地域のつながり強化にどの程度効果的かについては、引き続き検討してまいります。

No.	寄せられた提案の概要（類似の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
100	将来子どもを持とうか悩んでいる若者等を対象として、ファイナンシャルプランナーや助産師による相談イベントを開催する。家計管理や健康、子育ての方法など、専門家と直接話すことで、将来の具体的なイメージを描ける機会を提供する。	引き続き検討	既に未就学児のお子さんがいて、次のお子さんの妊娠について悩んでいる方を対象としたサービスとしては、子育て応援券事業の中で、カウンセリング、育児相談、家計相談など、保護者の方を支援するための各種サポートサービスを実施しております。 また、ご提案のような、これから子どもを持つことを検討している方を対象とした相談サービスにつきましては、こども家庭庁におけるプレコンセプションケア推進5か年計画などの動向も注視しながら、引き続き検討してまいります。
101	不登校の児童・生徒がスポーツをきっかけに登校再開を目指すプログラムを実施。	引き続き検討	不登校の児童・生徒を対象とした取組として区では以下を実施しています。 ・さざんかステップアップ教室 不登校児童生徒が、在籍校に籍を置いたまま通室し、教科学習・教育相談・レクリエーション・体験的活動等を組み合わせた活動により心のエネルギーを高めたり、小集団による学習・課外活動を行ったりしている。 ・校内別室指導支援事業 自分のクラスに入りづらい児童・生徒が落ち着いた空間の中で、自分に合ったペースで生活・学習できる居場所を校内に設置。 不登校の要因は様々である中で、スポーツに特化した本取組を実施することはその効果について慎重な検討が求められます。なお、区教育委員会では、不登校の生徒も含め、生徒が放課後や週末に、自身の志向に合うスポーツ等の活動が選択できるように、民間事業者や地域との連携を図り、部活動の地域展開に向けた取組を推進しています。
102	仮想空間を用い関心のある地域活動等を探することができる事業。ボランティアのナビゲーターがアバターとして訪問者におすすめの活動を提案するほか、参加をためらう訪問者には活動への同行サポートを実施する。	引き続き検討	地域の方が仮想空間に対してどの程度のニーズを持っているか、ご提案にあるようなナビゲーターの役割がボランティアの方による運営で成り立つかなど、効果的な実施方法や実現可能性について検討してまいります。